

令和6年度 第1回宗像市地域公共交通会議 議事録要旨

日 時	令和6年7月12日（金） 10時00分～11時00分
場 所	宗像市役所3階 第2委員会室
出席者	【委員】高崎浩（会長）、江口正男、森正彦、池田舞、出田貴宏、香月肇光、高見邦雄、古後澄雄、大和武博（代理）、大枝良直（副会長）、辻美貴善（代理）、宮地信裕、棚橋美智子 【オブザーバー】石川理生（代理） 【事務局】内田忠治、日野友和、小田淳、江本雅基、幸住瑠璃（都市再生課）
開会	1 会長挨拶 2 新任委員の紹介 3 運営方針及び傍聴要領について
報告事項	1 ふれあいバス・コミュニティバス・オンデマンドバスの利用状況 2 宗像まんきつ周遊バスの延長について 3 オンデマンドバスの乗降地点名称の変更 4 路線バスについて （津屋崎・鐘崎線、森林都市線、赤間（急行）福岡線、赤間（普通）福岡線）

区分	質疑内容等
会長	開会 1 会長挨拶
事務局	2 新任委員の紹介 新たに就任いただいた委員の紹介 （江口委員、池田委員、出田委員、高橋委員、古後委員、古賀委員）
事務局	3 運営方針及び傍聴要領について 昨年定めた運営方針及び傍聴要領に沿って会議を進める。
会長	報告事項1 ふれあいバス・コミュニティバス・オンデマンドバスの利用状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	ふれあいバス及びコミュニティバスの平成29年度から令和5年度までの利用者数について、またオンデマンドバスの令和5年度の利用者数や登録者数等について説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。（一同質疑なし） それでは報告事項1を終了する。
会長	報告事項2 宗像まんきつ周遊バスの延長について 事務局から説明をお願いします。
事務局	赤間駅を発着として玄海地区にある観光施設を数カ所回る観光バスを4月から運行している。5月にメディア等で取り上げられたこともあり、1日の乗車数人数は概ね80人～90人程度に増加しており、1日あたり100人を超える日もある。利用者のうち市外、県外の方の利用が80%程度を占めており、主に観光目的で利用されたと判断している。 当初は4月～6月までの運行を予定していたが、利用者数が伸びてきていることに加え、夏休み、秋の行楽シーズンもひかえているため、運行延長を行っている。また、今後はタクシー事業者とも協議を行ない、タクシー助成の事業も検討している。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。

出田委員	本事業が5月にメディアに取り上げられ、利用者数が大きく伸びたとの説明があったが、具体的にどのようにメディアに取り上げられたのか。 また、今後どのようにPRする予定か。
事務局	メディアについては、新聞各社で取り上げていただいております。毎日新聞ではバスの延長を含め複数回取り上げていただいております。新聞に掲載された翌日は問い合わせが急増しており、新聞記事を見て利用したという方も多くいらっしゃった。 今後のPR方法については現在検討中ではあるが、アイドルグループやお笑い芸人とのコラボを検討している。
古賀委員代理	利用者の乗降地の情報や、利用者が1人あたり何回程度このバスを利用しているか、情報はありますか。また、今後は有償化も検討しているか。
事務局	利用者の乗降地については発着地点である赤間駅を除くと、宗像大社や道の駅むなかたの利用が多い傾向にある。 今後の展望について、今年度は現行のままの運行を考えている。 現在、アンケート調査を行っており、その中で有償でも乗りたいという方が一定数いるが、運賃に関しては意見が分かれているため、アンケート結果の分析を進めながら検討していきたい。
会長	他に質疑等はあるか。(一同質疑なし)
会長	報告事項3 オンデマンドバスの乗降地点名称の変更について事務局から説明をお願いします。
事務局	日の里地区で運行のオンデマンドバスの乗降地点について、名称変更の理由と変更する乗降地点について一覧表をもとに説明。 併せてオンデマンドバスの新リーフレットについて説明。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。(一同質疑なし) それでは報告事項3を終了する。
会長	報告事項4 路線バスについて 西鉄バス宗像株式会社、西日本鉄道株式会社から説明をお願いします。
江口委員 池田委員	西鉄バス宗像株式会社が運行する津屋崎・鐘崎線、森林都市線、赤間(急行)福岡線、赤間(普通)福岡線の路線バスについて、現在の乗降客数、収支状況、運転手不足の課題等についてスライドをもとに説明。
会長	西鉄バス宗像株式会社、西日本鉄道株式会社から説明があったが、質疑等はあるか。
古後委員	赤間(普通)福岡線の日の里循環の路線は1日に何便あるか。 また、どういう方が利用しているか。
池田委員	1日に2便を運行しており、朝6時3分、6時37分の2便を運行している。 利用客は主に学生やサラリーマンで、通勤通学の目的でご利用いただいている。
会長	他に質疑等はあるか。(一同質疑なし)
会長	続きまして、次第のその他です。 事務局から説明をお願いします。
事務局	ラストワンマイル交通需要調査、夜間臨時バス(ラピコ)について説明。 ラストワンマイル交通需要調査について、1期目(6~10月)の申請件数は1,000人の募集に対して600件の申請があった。 6月の利用件数について、1人あたり1ヶ月に4枚までタクシー利用券を使用できることから最大で2,400枚(600件×4枚)のところ、実際の使用件数は1,000枚ほどであった。 夜間臨時バス(ラピコ)について、6月末までの利用者数は155名であった。
会長	事務局から説明があったが、質疑等はあるか。

森委員	タクシー事業者として懸念していることは、タクシー事業者の存続の部分である。会議の冒頭でオンデマンドバスの利用者数等の説明があったが、オンデマンドバスが日の里地区に導入されてから、タクシーの売り上げが減少傾向にある。今後、オンデマンドバス等の検討をするのは良いが、客層やエリア、時間帯毎にすみわけをしっかりといただき、タクシー事業者が存続できるような体系づくりをお願いしたい。
事務局	交通に関しては、どの交通モードも人手不足などの様々な課題を抱えている。森委員がおっしゃるように、交通事業者すべてが存続するための交通体系を各事業者様としっかりと話し合いをしながら模索していきたい。
会長	これをもって令和6年度第1回宗像市地域公共交通会議を終了する。

(以上)